

通所介護 重要事項説明書

通所介護の提供に当たり、事業所の概要や提供されるサービスの内容、利用上の留意事項等の重要事項について次のとおり説明します。

1. 事業者（法人）の概要

事業者（法人）の名称	合同会社ぽかぽか
主たる事務所の所在地	〒 510-0958 三重県四日市市小古曽六丁目15番1号
代表者（職名・氏名）	代表社員 山田 真貴子
設 立 年 月 日	令和7年6月17日
電 話 番 号	059-324-9034

2. 事業所の概要

事業所の名称	デイサービスセンターねこカントリークラブ		
事業所の所在地	〒 510-0958 三重県四日市市小古曽六丁目15番1号		
電話番号	059-324-9034		
FAX番号	059-390-3795		
指定年月日・事業所番号	令和7年10月1日指定	2470206687	
実施単位・利用定員	2単位	定員19名	
通常の事業の実施地域	四日市市、鈴鹿市		
併設事業所	無		
第三者評価の実施の有無	無	実施した直近の年月日	
実施した評価機関の名称		評価結果の開示状況	

3. 運営の方針

- ・ 通所介護の提供に当たっては、事業所の従業者は、利用者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう生活機能の維持又は向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練の援助を行うことによって、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。
- ・ 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、地域の保健医療・福祉サービスを提供する者との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

4. 提供するサービスの内容

- ・ 日常生活動作の機能訓練

利用者が日常生活を営む上で必要な機能の減退を防止するための訓練、利用者の心身の活性化を図るためのレクリエーション等を行います。

- ・ 健康状態の確認

体調や血圧等の確認を行います。

- ・ 入浴

入浴サービスの提供及び必要な介助を行います。

- ・ 送迎

居宅から事業所までの送迎及び乗降の介助を行います。

- ・ 日常生活における相談及び助言

利用者及びその家族の日常生活における介護等に関する相談及び助言を行います。

- ・ その他日常生活上の援助

利用者に必要な日常生活上の世話及び援助を行います。

5. 営業日時

営 業 日	月曜日から金曜日まで ただし、国民の祝日、年末年始（12月29日から1月3日まで） を除きます。
営業時間	午前 9 時00分から午後 4 時30分まで
サービス提供時間	午前 9 時00分から午後 4 時30分まで

6. 事業所の従業者の体制

（令和 7 年 1 0 月 1 日現在）

職種	常勤		非常勤	
	専従	兼務	専従	兼務
管理者	人	1 人		
生活相談員	1 人	人	人	1人
看護職員	人	1 人	人	1人
介護職員	人	人	2人	1人
機能訓練指導員	人	1 人	人	1人

7. 利用料等

サービスを利用した場合の「基本利用料」は以下のとおりであり、お支払いいただく「利用者負担金」は、原則として基本利用料に利用者の介護保険負担割合証に記載された負担割合を乗じた額です。

ただし、支払方法が償還払いとなる場合には、利用料の全額をお支払いいただきます。支払いを

受けた後、事業所からサービス提供証明書を発行しますので、市町村の介護保険担当窓口に提出し、後日払い戻しを受けてください。

(1) 通所介護の利用料

【基本部分：通所介護費】

サービス 提供時間 要介護度	3時間以上4時間未満				
	基本単位	利用料	利用者負担額		
			1割負担	2割負担	3割負担
要介護1	370単位	3779円	380円	760円	1140円
要介護2	423単位	4344円	435円	869円	1304円
要介護3	479単位	4919円	492円	984円	1476円
要介護4	533単位	5473円	548円	1095円	1642円
要介護5	588単位	6038円	604円	1208円	1812円

【通所介護相当サービス】

四日市市

要支援1	5回以上	(1月につき) 1,798円
	4回まで	(1回につき) 436円
要支援2	9回以上	(1月につき) 3,621円
	8回まで	(1回につき) 447円

鈴鹿市

要支援1	5回以上	(1月につき) 1,700円
	4回まで	(1回につき) 391円
要支援2	9回以上	(1月につき) 3,485円
	8回まで	(1回につき) 402円

※ 負担割合により上記の料金の2割負担3割負担になる場合があります

※ 保険給付の支給限度額を超えてサービスを利用する場合は、超えた額の全額をご負担いただくこととなりますのでご注意ください。上記の利用者負担金は目安の金額であり、円未満の端数処理等により多少の誤差が生じることがあります。

※ 月平均の利用者の数が当事業所の定員を上回った場合又は通所介護従業者の数が人員配置基準を下回った場合は、上記金額のうち基本単位数に係る翌月の利用料及び利用者負担額は、70/100となります。

※ 感染症又は災害の発生を理由として当該月の利用者数が当該月の前年度における月平均よりも100分の5以上減少している場合、3月以内に限り1回につき所定単位数の100分の3に相当する単位数を加算します。

※ 虐待防止に向けての取り組みとして、高齢者虐待防止のための対策を検討する委員会を定期的に開催していない、高齢者虐待防止のための指針を整備していない、高齢者虐待防止のための年1回以上の研修を実施していない又は高齢者虐待防止措置を適正に実施するための担当者を置いていない事実が生じた場合は、上記金額の99/100となります。

※ 業務継続に向けての取り組みとして、感染症若しくは災害のいずれか又は両方の業務継続計画が未策定の場合、かつ、当該業務継続計画に従い必要な措置が講じられていない場合、上記金額の99/100となります。

【加算・減算】

要件を満たす場合、上記の基本部分に以下の料金が加算又は減算されます。

加算	基本 単位	利用料	利用者負担額			算定回数等
			1割負担	2割負担	3割負担	
入浴介助加算(Ⅰ)	40単位	410円	41円	82円	123円	1日につき
介護職員等処遇改善加算(Ⅲ)	所定単位数	左記の 単位数 × 地域 区分	左記の 1割	左記の 2割	左記の 3割	・1月につき ・〔※所定単位数〕 基本サービス費に 各種加算・減算を 加えた総単位数

(2) その他の費用

おやつ 飲み物	350円
おむつ代等	実費

交通費	通常の事業の実施地域を越えて行う送迎に係る費用として、通常の事業の実施地域を越えた地点から、片道30円/k mをいただきます。
その他	上記以外の日常生活において通常必要となる経費であって、利用者負担が適当と認められるもの（利用者の希望によって提供する日常生活上必要な身の回り品など）について、費用の実費をいただきます。

（３）キャンセル料

利用予定日の前にサービス利用の中止又は変更をすることができます。

この場合には、利用予定日の**前営業日 17時**までに事業所に申し出てください。

利用日の当日 8時までに連絡がなく、サービス提供をキャンセルした場合は、以下のとおりキャンセル料をいただきます。ただし、利用者の体調や容体の急変など、やむを得ない事情がある場合は、キャンセル料はいただきません。

キャンセルの時期	キャンセル料
ご利用日の前営業日17時まで にご連絡いただいた場合	無料
ご利用日当日 8時まで にご連絡がなかった場合	350円

（４）支払い方法

毎月**15日まで**に前月分の利用料の請求をいたしますので、**末日まで**にお支払ください。

お支払方法は、銀行・郵便局の指定口座からの引き落とし、現金払いの中からご契約の際に選択できます。

8. サービスの利用に当たっての留意事項

- ・サービスの利用中に気分が悪くなったときは、すぐにお申し出ください。
- ・複数の利用者の方々が同時にサービスを利用するため、周りの方のご迷惑にならないようお願いいたします。

- ・利用者の事情で時間に遅れた場合、送迎サービスが受けられない場合があります。

9. 秘密保持及び個人情報の保護

- ・事業者及びその従業者は、業務上知り得た利用者及びその家族の秘密を正当な理由なく、在職中及び退職後において、第三者に漏らしません。これは、この契約終了後も同様とします。
- ・事業所は、利用者の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が策定した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」を遵守し、適切な取り扱いに努めるものとします。
- ・事業所は、利用者の個人情報については利用者から、その家族の個人情報についてはその家族から予め文書で同意を得ない限り、利用者の居宅サービス計画等の立案のためのサービス担当者会議、居宅サービス事業者等との連絡調整等において、利用者又はその家族の個人情報を用いません。

10. 虐待の防止について

事業者は、利用者等の人権の擁護・虐待の発生又はその再発を防止するために、次に掲げるとおり必要な措置を講じます。

- (1) 虐待防止に関する担当者を選定しています。

虐待防止に関する担当者	管理者 山田 真貴子
-------------	------------

- (2) 虐待防止のための対策を検討する委員会を定期的開催し、その結果について従業者に周知徹底を図っています。
- (3) 虐待防止のための指針の整備をしています。
- (4) 従業者に対して、虐待を防止するための定期的な研修を実施しています。
- (5) サービス提供中に、当該事業所従業者又は養護者（現に養護している家族・親族・同居

人等)による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報します。

1 1. ハラスメントの防止について

(1) 事業者は適切な通所介護の提供を確保する観点から、職場において行われる性的な言動又は優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより職員の就業環境が害されることを防止するための方針の明確化等の必要な措置をします。

(2) 従業者に対する暴言・暴力・ハラスメント防止への啓発・普及するための研修を実施しています。

(3) 利用者、家族、代理人または身元引受人等からの事業所やサービス従業者、その他関係者 に対して故意に暴力や暴言等の法令違反、その他著しく常識を逸脱する行為、ハラスメント行為を行った場合は、サービスのご利用を一時中止及び契約を解約させていただく場合があります。

1 2. 身体的拘束等について

事業者は、原則として利用者に対して身体的拘束等を行いません。ただし、自傷他害等のおそれがある場合など、利用者本人または他人の生命・身体に対して危険が及ぶことが考えられ、以下の(1)～(3)の要件をすべて満たすときは、利用者に対して説明し同意を得た上で、必要最小限の範囲内で身体的拘束等を行うことがあります。その場合は、態様及び時間、利用者の心身の状況、緊急やむを得ない理由、経過観察並びに検討内容について記録し、5年間保存します。

また事業者として、身体的拘束等をなくしていくための取り組みを積極的に行います。

(1) 切迫性……直ちに身体的拘束等を行わなければ、利用者本人または他人の生命・身体に危険が及ぶことが考えられる場合。

(2) 非代替性……身体的拘束等以外に、代替する介護方法がない場合。

(3) 一時性……利用者本人または他人の生命・身体に対して危険が及ぶことがなくなれば、直ちに身体的拘束等を解く場合。

13. 緊急時における対応方法

サービス提供中に利用者の体調や容体の急変、その他の緊急事態が生じたときは、速やかに下記の主治医及び家族等へ連絡を行う等、必要な措置を講じます。

利用者の主治医	医療機関の名称 氏名 所在地 電話番号	
緊急連絡先 (家族等)	氏名 (利用者との続柄) 電話番号	

14. 事故発生時の対応

通所介護の提供により事故が発生した場合は、速やかに利用者の家族、担当の介護支援専門員及び市町村等へ連絡を行うとともに、必要な措置を講じます。

また、利用者に対する通所介護の提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行います。

15. 苦情相談窓口

サービス提供に関する苦情や相談は、下記の窓口でお受けします。

(1) 事業所の窓口

事業所相談窓口	電話番号 059-324-9034
---------	-------------------

	受付時間 月曜日から金曜日 9時から16時 担当者名 山田 真貴子
--	--------------------------------------

(2) その他苦情申立の窓口

苦情受付機関	三重県長寿介護課 居宅・施設サービス班	電話 059-224-2235
	四日市市介護保険課 管理保健課	電話 059-354-8190
	鈴鹿亀山地区広域連合 介護保険課	電話 059-369-3203

16. 非常災害対策

- ・事業所は、防火管理についての責任者を定め、非常災害に関する具体的な防災計画を作成します。
- ・事業所は、防災計画に基づき、年1回、利用者及び従業者等の避難、救出その他必要な訓練を行います。

17. サービスの終了

次の場合にサービスは終了となります。

(1) 利用者のご都合でサービスを終了する場合

サービスの終了を希望する日の **10日前まで**に文書でお申し出下さい。

ただし、利用者の病変、急な入院等やむを得ない事情がある場合は、

予告期間が **10日以内**の通知でもこの契約を解約することができます。

(2) 事業所の都合でサービスを終了する場合

人員不足等やむを得ない事情により、サービスの提供を終了させていただく場合が

あります。その場合は、**1ヶ月前まで**に文書で通知します。

(3) 自動終了

次の場合は、双方の通知がなくても、自動的に契約を終了いたします。

- ・利用者が介護保険施設へ入院又は入所した場合
- ・利用者の要介護状態区分が要支援又は自立となった場合
- ・利用者が死亡した場合

(4) その他

①次の場合は、利用者は文書で解約を通知することにより、直ちにサービスを終了することができます。

- ・事業者が、正当な理由なくサービスを提供しない場合
- ・事業者が、守秘義務に反した場合
- ・事業者が、利用者やその家族に対して社会通念を逸脱する行為を行った場合
- ・事業者が、倒産した場合

②その他、利用者は契約更新を希望しない場合、利用料等の変更に対して同意することができない場合には契約を解約することができます。

③次の場合は、事業者は文書で解約を通知することによって直ちにサービスを終了させていただく場合があります。

- ・利用者の利用料等の支払いが**3ヶ月以上**遅延し、利用料等を支払うよう催告したにも拘らず、別途定めた期限内に支払われなかった場合
- ・利用者又はその家族が事業者や従業者又は他の利用者に対して、この契約を継続し難い

ほどの背信行為を行った場合

令和 年 月 日

事業所は、利用者へのサービス提供開始に当たり、上記のとおり重要事項を説明しました。

説 明 者 所 在 地 三重県四日市市小古曾六丁目15番1号

事業所名 デイサービスセンターねこカントリークラブ

職・氏名 管理者 山田 真貴子 印

私は、事業所より上記の重要事項について説明を受け、同意しました。

利 用 者 住 所

氏 名 印

代 理 人

住 所

氏 名 印

本人との続柄